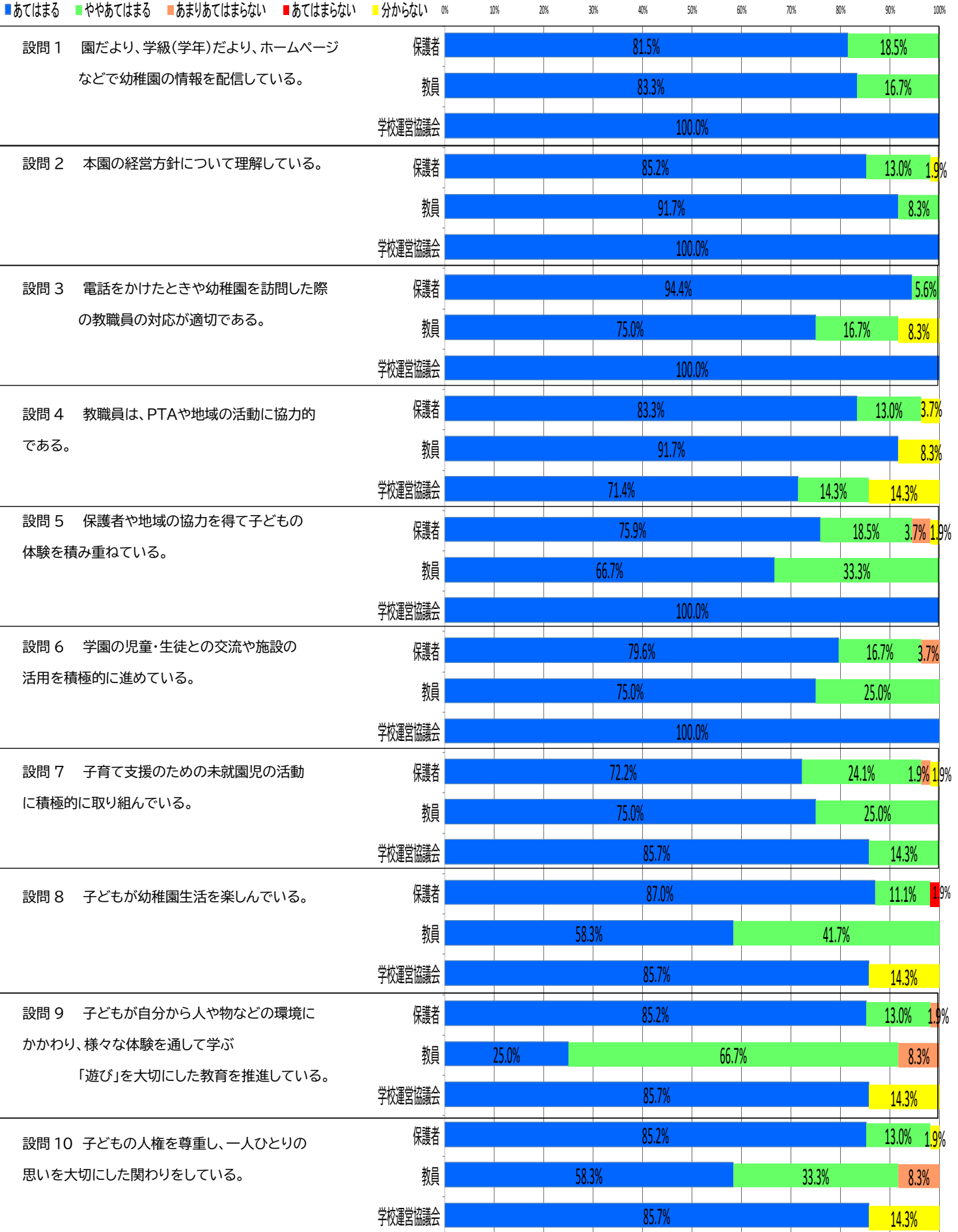




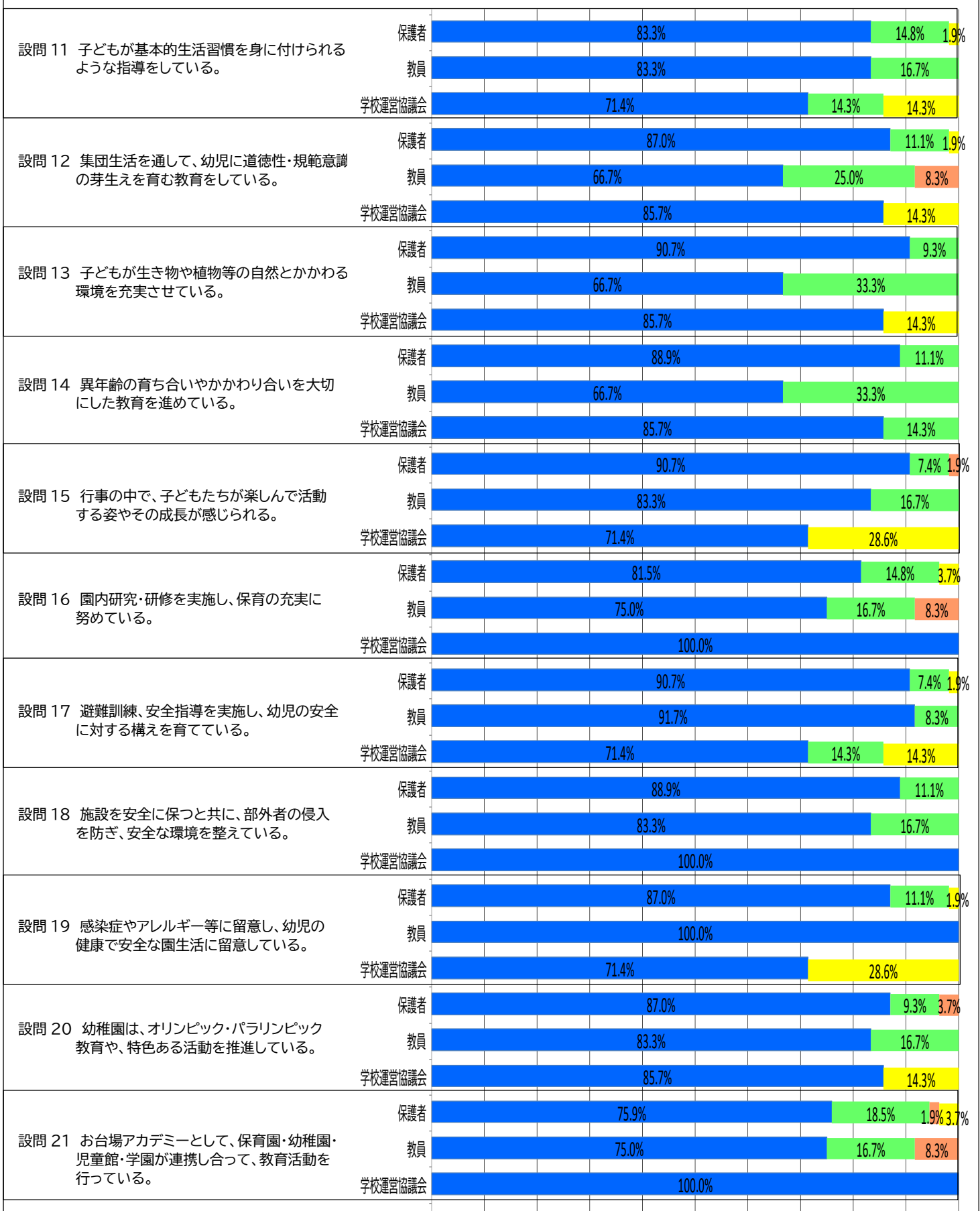
令和3年度 学校評価

港区立にじのはし幼稚園

令和3年度 港区立にじのはし幼稚園 幼稚園アンケート集計結果



■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない ■分からない





令和3年度 学校評価

港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

昨年12月に実施しました「幼稚園アンケート」へのご協力、ありがとうございました。アンケートの結果と、その後の学校評価の状況についてお知らせいたします。

<全体状況>

- ・保護者アンケートの回収率は100%でした。
- ・21項目中、A・B評価(A:あてはまる B:ややあてはまる)の合計100%が5項目、98.1%が9項目、96.2%以上が5項目、94.4%以上が2項目でした。
- ・1項目について、D評価が1.9%(54名中1名)でした。
- ・教育内容・指導では、保護者や学校運営協議会委員と比較して教職員の評価が全般的に低い結果となりました。
- ・自由意見では、園の環境や教育資源について、また教育内容や教職員に対する肯定的な意見が多くありました。感染症予防をしながら進めている教育活動への評価がある反面、コロナ禍により異学年との交流、合同の行事等が減ってしまったことに対して、来年度以降に期待する声も寄せられました。
- ・項目や評価の視点を昨年度のものから変更したため、今年度は、昨年度との比較ではなく、保護者・教職員・学校運営協議会委員の結果の比較と、自由記述等から分析・考察を行いました。それを自己評価とし学校運営協議会に提出し、意見をいただきました。

<主な項目についての分析・考察、改善策等>

小項目4 教職員はPTAや地域の活動に協力的である。

自由意見では、来年度の園児数減少に伴う保護者一人ひとりへの負担増加を心配する声がありました。これについては現PTA役員からも同様の意見があり、園としても保護者の負担が大きくなりすぎないようにと考えています。来年度に向け、現PTA役員と相談しながら活動や人数の見直しを図っています。

小項目7 子育て支援のための未就園児の活動に積極的に取り組んでいる。

昨年は、コロナ禍のため、例年の半分しか未就園児親子の会を実施できませんでしたが、今年度は概ね実施することができました。在園児の手づくり楽器を一緒に鳴らして遊ぶ、絵本や紙芝居を見るなど、感染症対策をしながらできることを考え、活動を工夫してきました。また、未就園児向けの絵本を新たに購入し、にじっこ図書館を平日の午前中、親子に開放し絵本貸出も行いました。いつでも来園できる安心感がもてるよう進めていきます。

小項目9 子どもが自分から人や物などの環境に関わり、様々な体験を通して学ぶ「遊び」を大切にしたい教育を推進している。

教職員の結果は、A評価の割合から見ると全項目の中で最も低い評価でした。公立幼稚園の教育の中で、最も大切にしていることが、「遊び」からの学びです。この重要性を感じ、改善、向上していきたいという教職員の思いが表れています。幼児の発達や実態の理解に基づき、豊かな環境構成や活動内容の充実に向けて取り組んで参ります。研究で学んだ内容を実践に活かすと共に、カンファレンスをしながら保育をしていく中で、園全体の保育力の向上を目指します。

小項目10 子どもの人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にしたい関わりをしている。

小項目12 集団生活を通して、幼児に道徳性・規範意識の芽生えを育む教育をしている。

上記2項目について、保護者や学校運営協議会委員の皆様からは、高評価をいただきました。自由意見の中でも個々を大切にしたい丁寧な関わりに評価をいただいています。しかし教職員の評価はそれよりも低く、改善の余地

があると感じていることが読み取れます。幼児の発達の理解を深めるとともに、日々のカンファレンスから多面的に幼児理解を行い、幼児の思いに寄り添いながら適切な援助ができるようにすることを目指し、引き続き、資質向上に努めて参ります。

小項目14 異年齢の育ち合いやかかわり合いを大切にした教育を進めている。

5歳児保育室は、お台場学園校庭に面したプレハブに設置していました。いるか組はぽかぽか広場を遊びの場として活用することで、各学年の遊び空間の保障ができ、また、お台場学園の施設や小中学生の姿が日常的に見えるということから、円滑な就学に向けても効果がありました。しかし、来年度の園児数の減少に伴い、遊び空間や異年齢の交流の面から総合的なメリットを考え、来年度はいるか組保育室を本園舎に移すことといたしました。場の有効活用や小・中学生との交流を意識しながら、日常的な異年齢の関わりの中での育ちを大切にしていきます。

小項目15 行事の中で、子どもたちが楽しんで活動する姿やその成長が感じられる。

コロナ禍が続き、状況に合わせ、実施方法を柔軟に考えてまいりました。その中でのよい点について評価がされたと受け止めています。教育活動で大切にしたいところと今年度工夫したよい点を合わせ、よりよい実施の方法としていきます。

小項目16 園内研究・研修を実施し、保育の充実に努めている。

保護者の評価はA・B合わせて96.3%の評価でした。今年度から園内研究会だよりの発行を始めました。教員の学びを保護者の方にもお伝えし、子どもたちの育ちや学びを家庭と連携しながら支えていきたいと考えています。教職員については、学びを指導の改善に活かしているかというところまで省察し、保育の質の向上をめざします。

<次年度取組の骨子>

- 引き続き感染症予防を万全に行い、安全に努め、幼児、保護者にとって安心な環境とします。園内の清掃、消毒換気を確実にを行い、幼児の手洗い、手指消毒等の指導を丁寧にしていきます。
- 感染症の継続や終息等、先が見えない状況ではありますが、活動や行事は、幼児に経験させたい内容を重視しながら、柔軟に計画・実施をしていきます。
- 園児数や幼児の実態に合わせながら、保育室や園庭、ぽかぽか広場の活用の仕方を考え、遊び環境の充実に図ります。教員は、日常のカンファレンスから幼児理解や自身の指導について省察し、指導の改善、保育の質の向上に努めます。幼児一人ひとりの資質能力を育む、よりよい教育環境の創造を目指します。
- 保護者・地域とともに幼児の育ちを支えていけるよう、分かりやすい情報発信に努めます。

自由記述概要

以下は、「自由意見」として回答いただいた内容です。紙面の都合上、ご意見をまとめて記述している場合もあります。ご了承ください。(○…肯定的な意見、●課題)

上記小項目でふれていない課題、改善点については、「→」に改善の方向性を示しています。前ページまでと併せてご覧ください。皆様からいただいたご意見・ご感想を参考に、教育活動等の改善・充実を図ってまいります。

【保護者】

<環境・教師・指導について>

- 少人数で、先生方が園児全員の事を覚えてくれている何よりの特色。
- 先生の気持ちが安定していてとにかく一生懸命。行事毎の子どもの成長は目覚ましく、子どもを預ける親として、そのような先生の姿を拝見できることも安心できるし今では楽しみの一つ。
- トラブルがあっても互いの意見を丁寧に聞いてもらえているようで、安心している。困難やストレスにさらされた時に視点を変えたり自分を励ましたり、そういう力の素が備わるといいなと願う。
- 一人ひとり丁寧に接し個を尊重する取組は素晴らしいと思う。「自ら考え行動できる子」になってほしい。
- 子どもに何か変化があっても丁寧に様子を伝えてくれるので親子共に安心して通うことができている。
- お台場の自然、広い空間、隣は小中学校でお兄さんお姉さんとの触れ合いもあり、環境としては素晴らしいなと日々感じております。子どもも伸び伸びと幼稚園生活を楽しめている姿に幼稚園には感謝の気持ちでいっぱいです。(同様5件)
- 子どもたちが遊ぶ中で色々な事を身につけていく教育は、一部私学などで行われるような座学的な授業を行うよりも、むしろ難易度の高いことだと思っています。これからもよろしくお願いします。
- お弁当の食事期間がとても短い。時間を延ばしてほしい。→現在は、感染症対策として、食事時間を15分以内としています。不足分は、ご家庭やサポート保育のおやつで補食できるよう、ご協力ください。
- 入園当初から毎日喜んで登園していたが、先月から毎朝休みたいたい言うようになってしまった。きっかけはお友達とのことの様で、担任の先生に相談し解決したはずですがその後も嫌々登園しています。また相談しようと思います。
- 遊びの中で学ぶことが一番必要な時期と思いますが、子どもによっては、簡単にこなせてしまっている様子も感じられます。豊かな成長のために、もっと挑戦があるような環境作りを期待します。また、園外活動、体験学習が他園よりも圧倒的に少ないことが残念です。感動や思い出に残るような行事の充実を希望します。
- 園庭が狭い。せつかく校庭や体育館、アリーナ、室内プールなど素晴らしい施設があるので、連携してもっと多種多様に活用できる機会を増やしてほしい。園児数が少ないので、いるか組のクラスをにこにこの部屋に移すなどしてより異学年交流を深めてほしい。

<情報発信について>

- コロナ禍で保護者があまり園の行事に行けないので Twitter に日常の遊びなどの写真があり、様子を知れるのがよい。「がくぷり」の活用で園だよりとお知らせがあることもとても便利。
- とてもいい幼稚園と思うのに、年々入園希望者が減っているのが気になる。一人ひとりをしっかり見てくれ、子どもに合わせた教育をしてくれる点など、もっと園の魅力を外にアピールしていけたらよい。
- 降園時の口頭での連絡事項(持ち物や服装など大事なことは)はホワイトボードに記入したりがくぷり配信するなどしてほしい。→持ち物や服装などの連絡は、ホワイトボードを活用します。

<行事について>

- 密にならないよう学年毎に行事を行うことで、保護者はとても観覧しやすく参加しやすい。
- コロナ禍の中での、充分配慮された行事を子どもは楽しんで活動しているので、開催決定に対して感謝。感染対策もきちんとされ、不安なく参加することができた。(同2件)
- コロナ禍の中、仕方ない部分はあるが、他の学年との交流や、他の学年と一緒に参加できる行事が少ないので、来年以降に期待。

<PTA 活動について>

- PTA 活動は皆様協力的で尚且つ親切。効率良い動きをしている保護者の方が多い印象。
- PTA 活動においては、子どもが減っており、さらにコロナ禍のため新しく活動内容を見直したり、可能な限りで最大限の活動をしてくださっていて感謝いたします。
- 来年度、園児が大幅に少なくなる予定で、今後も同じ規模の PTA 役員を選出するのは保護者の負担が大きくなる。役員を少なくするのみでは PTA の通常業務をこなすことが難しくなるため業務の縮小を

図ることはできないか。

<預かり保育について>

- アイロンビーズなど、普段出来ない遊びに大興奮で、笑顔で帰ってきてくれることに安心しています
- しっかり安全に子どもを見て頂き、お迎えの際に子どもの様子が聞けるところが安心して預けれる良い点に感じています。また、子どもたちの行事でそれぞれ野菜を育ててみんなで食べたり、成長を見たりと自然に触れて素晴らしい行事に感じています。
- 週に2回ほどお世話になっていますが、年上のお兄さんお姉さんとの関わりが楽しく毎日行きたい様です。年上の子たちから学んだ新しい遊びや生活習慣などを嬉しく話してくれる様子に成長を感じます。

<その他 要望等>

○C 評価をつけた理由は、そのような事例を知らないからであり、事実と異なるかもしれません。よろしくお願ひします。

●保護者面談は年に数回設定があり、幼稚園生活で心配なことが相談できるので助かっている。面談中に保育をしてほしい。→在園児についてはサポート保育の利用もご検討ください。

●個人面談のスケジュール調整を保護者同士で行わせるのではなく、面談スケジュールを園側で確定する前に事前アンケート等を取ってほしい。→学校と違い、保護者が毎日顔を合わせることができるのが幼稚園のよいところです。教員の働き方改革の面からも、ご協力をお願いします。

【学校運営協議会】

○台場サービスセンターに、幼稚園からのお便り(模造紙大)が掲示してあり、お年寄りの皆さんが毎日眺めています。コロナ禍でも工夫した交流がとても良いと思ひました。

○今年度は園の様子を観察する機会がなく、具体的な教育や環境について「わからない」という回答が多くなってしまい、申し訳ありません。「園内研究会だより」は素晴らしい取り組みだと思ひます。子どもがどのように育つのか、園はどのように育ちを促していくのかといったことが、保護者にも分かりやすく記述されていると思ひます。毎朝登園時の園児の様子が楽しそうなのが、何よりだと思ひます。

○幼稚園と保護者・地域とが協働して、子どもたち一人一人のよさを生かした教育を進めていただき、大変ありがたく思ひます。また、幼児が、お台場学園の児童・生徒と日常的に温かく関わりながら生活していることを実感しています。幼稚園の皆様が、様々なご苦勞が多い中、子どもたちの育ちにとって最高の環境をつくるためにご努力いただいていることに感謝申し上げます。

○毎月園だよりをありがとうございます。コロナの関係で行事に出向く機会がなく残念ですが、6月22日のにじっ子まつりのお手伝いの折には、子どもたちが楽しく活動している様子を見られてよかったです。また、登園、降園時に見る姿も例年で変わりなく微笑ましく感じています。12月から始まりました公園の工事で遊び場所が減ってしまうのと危険箇所が増えるのが心配です。

【教職員】

●遊びの充実に向けた、幼児の実態に合った教材の準備や、環境について工夫・改善していくとよい。

●活動中心の保育ではなく、一人ひとりの思いを受け止め、幼児理解を深めた温かい保育をしていくとよい。

●園内研、研修で学んだことを、適正な評価や幼児理解、教師理解につなげ、保育の充実に生かしてほしい。